

まいすてっぶ児童発達支援自己評価
(令和2年2月実施) (8人中8人回収 回収率100%)

		はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	8			
	② 職員の配置数は適切であるか。	8			・子どもの運動時はサブで1人スタッフが入ってくれる
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	8			
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			・コロナ対策を十分に配慮している・活動内容に合わせて環境設定をしている・消毒を毎時間毎に行なっている
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPCDAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			・色々な職種のスタッフからのアドバイスをもらう・子どもに関わるスタッフは数人ずつチームになっており、その中で決めたことに対し検証しながら進めている
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	8			
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び、改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	8			
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			8	・第三者による外部評価がされているかわからない・第三者評価はしていない
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	7	1		・コロナで研修を受けられなかった・受けた研修に出してもらっている・申し込んだ研修がことごとく中止、Zoomなどで再開されたもので可能なものを受講
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8			・必要に応じて発達検査を実施している・初回にて運動、言語、認知のバランスを聴取し、適切な検査、評価方法を選択している
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	8			
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	8			
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	7	1		・同時間の子どもが遊ぶ時にやり取りはあっている・その中でやりとりの練習はしている
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	8			
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	8			
	⑲ 日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	8			

		はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	②① 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか。	8			できる限り担当が参加し、難しい時は児発管に出てもらう
	②② 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や、関係機関と連携した支援を行なっているか。	6	2		その日のスタッフにより、連携できるかが違う。できるだけ参加している。
	②③ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか。		2	6	・対象児がいない
	②④ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか。		2	6	・対象児がいない
	②⑤ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			情報提供などを作成
	②⑥ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		情報提供などを作成
	②⑦ 他の児童発達支援センターや、児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	5	3		コロナで研修は受けられなかった
	②⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。		7		交流することは良いことと思うが、互いに時間を確保するのは難しいのでは、と思う
	②⑨ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	2		代表者のみ参加
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行なっているか。	5	3		コロナの影響でできなかった
保護者への説明責任等	③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか。	8			
	③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	③⑭ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか。	8			
	③⑮ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	1	7		・本来ならば保護者同士が集う部屋も、今年はコロナの影響で入室制限となり、賑わう姿も見られませんでした。
	③⑯ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	③⑰ 定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	③⑱ 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	8			
	③⑲ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	④⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		・避難訓練で、近くの商店を利用させてもらっている・一般的な行事とは違うかもしれない・外部に開かれることは望まれない保護者様も多い。

		はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の対応	④1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	④2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	8			・ 子ども達と一緒に訓練をしている・ほとんどの子どもに、災害時のソーシャルスキルトレーニングをしている
	④3 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	④4 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3		・ 医師の指示や保護者の考えを基に行なっている。 ・ 事前に保護者に確認している。 ・ 初回に必ず確認している。
	④5 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	8			
	④6 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	④7 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明して了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8			・ スタッフ間で確認しながら、保護者様に説明した上で、児童発達支援計画書に記載している。